

# 「形容詞語基+らしい」之語意分析 —兼論與原生形容詞「Xい」之異同—

賴錦雀

東吳大学日本語文学系教授

## 摘要

本論文以日語的「形容詞語基(X)+らしい」形式為考察對象，從派生形容詞「Xらしい」與其原生形容詞「Xい」的異同著手，援用認知意味學的手法探究「Xらしい」的語意。「Xらしい」形式中之「X」有語彙制限，同時其語意、評價性未必與原生形容詞「Xい」相同，因此建議在日語教育現場宜以搭配詞的形式提出，並進行派生形容詞與原生形容詞之比較，以提升學成效。

關鍵詞：派生形容詞「Xらしい」、原生形容詞、認知語意學、  
評價性、日語教育

受理日期：2017.03.10

通過日期：2017.05.05

## **Semantic analysis of "adjective+rasii" form**

Lai Jiin-Chiueh

Professor, Soochow University, Taiwan

### **Abstract**

The subject of consideration in this paper is the Japanese "adjective +rasii" form. I would like to clarify the difference between the derived adjective "X-rasii" and its original adjective "X-i" using the cognitive semantics method. There is a vocabulary restriction of "X" in the "X-rasii" form. The meaning and evaluation of "X-rasii" form are not necessarily the same as the original adjective "X-i". I would like to propose to submit a vocabulary by collocation and to compare "adjective +rasii" form with the original adjective in Japanese language education.

Keywords: derived adjective 「Xrasii」, original adjective,  
cognitive semantics, Evaluation, Japanese language education.

# 「形容詞語基+らしい」の意味分析 —派生元形容詞「Xい」との比較をかねて—

頼錦雀

東呉大学日本語文学系教授

## 要旨

本稿は日本語における「形容詞語基(X)+らしい」形式を対象に、派生形容詞「Xらしい」とその派生元形容詞「Xい」の異同に着目し、「Xらしい」の意味を認知意味論の手法を援用して明らかにしたいものである。「Xらしい」形式には「X」の語彙制限があるほか、意味、評価性は必ずしも派生元形容詞「Xい」と同じとは限らないので、日本語教育現場ではコロケーションによる提示および派生元形容詞との比較をすすめたいものである。

キーワード：派生形容詞「Xらしい」、派生元形容詞、認知意味論、  
評価性、日本語教育

# 「形容詞語基+らしい」の意味分析

## —派生元形容詞「～い」との比較をかねて—

頼錦雀

東呉大学日本語文学系教授

### 1. はじめに

本研究は日本語形容詞研究の一環であるが、考察対象は「形容詞語基(X)+らしい」形式の形容詞である。岩波書店辞典編集部(1999)『逆引き広辞苑』(第五版対応)、北原保雄編(1990)『日本語逆引き辞典』(大修館)、松村昭監修『デジタル大辞泉』(小学館。goo辞書版)<sup>1</sup>を対象に考察した結果、表1のような「～らしい」形式の形容詞が採集された。

(表1) 「～らしい」形式形容詞

1. 「名詞+らしい」形式 愛らしい、愛嬌らしい、阿呆らしい、男らしい、女子らしい、女らしい、 子供らしい、情けらしい、人間らしい、人らしい、貧乏らしい、分別らしい、 勿体らしい、仔細らしい
2. 「形容動詞+らしい」形式 嫌らしい、胡散らしい、軽薄らしい、大層らしい、確からしい、駄目らしい、 馬鹿らしい
3. 「接頭辞+形容動詞+らしい」形式 御大層らしい
4. 「形容詞語基+らしい」形式 幼らしい、可愛らしい、汚らしい、怖らしい、憎らしい、惨らしい
5. 「接頭辞+形容詞語基+らしい」形式 小憎らしい
6. 「副詞+らしい」形式 今更らしい、最もらしい、態とらしい
7. 「動詞未然形+らしい」形式 いじらしい(弄る)、誇らしい、
8. 「接頭辞+動詞未然形+らしい」形式 素晴らしい
9. 「名詞+動詞未然形+らしい」 みすぼらしい
10. 「動詞+助動詞+らしい」形式 好いたらしい

表1を見て分かるように、派生形容詞「～らしい」の前にくるのは名詞、形容動詞語基、形容詞語基、副詞、動詞未然形などの造語成分である。今回の考察では「幼らしい、可愛らしい、汚らしい、怖らしい、憎らしい、惨らしい」の6語の「形容詞語基+らしい」形式が採集された。本稿では派生元形容詞「～い」との比較によって「形容詞語基+らしい」の意味を明らかにしたいものである。

<sup>1</sup> 2016年11月20日検索。

## 2. 先行研究

「～らしい」には助動詞の「らしい」と接尾辞「らしい」があるが、本研究の考察対象「形容詞語基+らしい」形式における「らしい」は接尾辞「らしい」である。村上（1981）によると、形容詞を作る接尾辞「らしい」は中世になって、新たに用いられるようになったものである。

森田（1989）は「～らしい」の意味について「そのものが本来持っているべき特徴を特に強く発揮している状態である」と述べている。また、接尾辞「らしい」が付く「～らしい」には、その対象における一般的な基準、または判断者が要求し期待する基準から見て、そのものの特徴が十分に備わっていてよいという価値判断がある、という記述も見られる。しかし「そのものの特徴を十分に備えて、いかにもそれにふさわしい状態であるようす。名詞に付く。」（森田 1989：1205）の説明で分かるように、森田（1989）で取り上げられている形容詞「～らしい」は前部造語成分が名詞である語だけである。

田野村（1991）はいわゆる接尾語の「らしい」はある物であることが分かっている対象について、それがその物の典型的な性質を示しているということを表現する、と述べ、その特徴を次のようにまとめている。

1. 接尾語の「らしい」はほとんどもっぱら名詞に付く。
2. 接尾語の「らしい」を含む「あの男は実におとこらしい」の音調は、通常、「オ「トコラシ「イ」」のようになる。これに対し、助動詞を含む「向こうからやって来るのはそうも男らしい」では、「オ「トコ「ラ「シ「イ」」という発音が基本的である。
3. 接尾語の「らしい」には「-らしき」の用例は見当たらない。
4. 接尾語の「らしい」では「XらしいX」という言い方が可能である。

山下（1995）は「名詞+らしい」形式の形容詞における「らしい」が付与する意味について「名詞が意味するようなコトがあるように感じられる様子ある」という話し手の判断を表すと考えられる。「子

「細らしい」は子細があるように感じられる様子であるという話者の判断を表すことになる、というように述べている。しかし、「愛らしい」についてはこのような説明にはいささか無理がある、と補足している。そして、形容詞語基、形容動詞語基、副詞に結合した「～らしい」については「結合語基の種類は限定されており臨時的に「らしい」が結合し新たな派生語を形成することは少ない。結合する語基は人間の感情または感覚そのものを表すか、あるいは話し手によって主観的に捉えられた状態を表すものである。プラス評価とマイナス評価を含むものの両方がある」と述べている。言い換えれば、対象となるものが話し手に結合する語基が表す内的な気持や状態を呼び起こすように感じられる様子であることを表す。しかし、すべての「～らしい」形式に主観的に捉えられた状態を表す意味側面を持つか、疑問に思われることもある。確かに「幼らしい容姿」における「幼しい」は「幼い」より主観的な表現になるだろうが、「可愛らしい声」が「可愛い声」より主観的だと言えるかどうか、もっと考察すべきではないかと思われる。

岩崎（2013）では「名詞+らしい」形式が対象で「可愛らしい」のような「形容詞語基+らしい」形式が考察対象には含まれなかった。

辞書における意味記述を見てみると、次のように「X+らしい」と「Xい」が同じような解釈が出されているのも見られる。

- 幼い      ①年齢が若い。幼少である。いとけない。  
                    「息子はまだ幼い」  
                    ②幼稚である。子供っぽい。「考え方が幼い」  
幼らしい    いかにも幼げだ。子供っぽい。

（デジタル大辞泉。下線は引用者）

先行研究の多くは「らしい」と「ようだ」と「っぽい」の意味的異同に関するものである。「X+らしい」形式の形容詞とその派生元の「Xい」との比較についての記述は少ないかあるいは両者の違いに対する説明に不明の点があるのもっと論考する余地があると思われる。本研究は「形容詞語基（X）+らしい」形式をもつ形容詞「幼らしい、可愛らしい、汚らしい、怖らしい、憎らしい、惨らしい」

を対象に派生元形容詞（Xい）との異同を明らかにするのが狙いである。

### 3. 認知意味論における意味拡張

本稿では「X+らしい」と「Xい」によるコロケーションを採集し、それぞれの共起表現を観察しながら「X+らしい」の意味分析をするが、分析にあたり、認知意味論の概念を援用する。認知意味論では多義性を持つ語の多義発生を意味の拡張だと捉えるのが一般的であるが、その拡張を引き起こす要因はメタファー（隠喩）、シネクドキー（提喩）、メトニミー（換喩）と呼ばれる。ここでは松本（2003）、靱山（2002）に従い、この三種の比喩を次のように定義する。

（イ）メタファー：二つの事物・概念の何らかの類似性に基づいて一方の事物・概念を表す形式を用いて他方の事物・概念を表す比喩である。その基盤となる認知能力は二つの対象を比較するという能力である。

（ロ）シネクドキー：より一般的な意味を持つ形式を用いてより特殊な意味を表す、あるいはより特殊な意味を持つ形式を用いてより一般的な意味を表す比喩である。その基盤となる認知能力はある対象をさまざまな程度の詳しさや特定性を捉える能力である。

（ハ）メトニミー：二つの事物の外界における隣接性、あるいは二つの事物・概念の思考内、概念上の関連に基づいて、一方の事物を表す形式を用いて他方の事物・概念を表す比喩である。その基盤となる認知能力はより把握しやすいものを参照点として活用し、本来把握したい対象を捉えるという参照点能力が考えられる。

### 4. 考察と分析

本節では「Xい」と比較しながら「Xらしい」の意味について考えたいが、考察にあたり、まず日本語の国語辞典を参考に「Xい」

の基本義をまとめてから用例を参照して認知意味論の立場から各々の形容詞の意味を分析する。

#### 4.1 幼らしい

「幼らしい」は「幼い」の派生語である。上述したように、「幼らしい」にも「幼い」の持つ「子供っぽい」という意味があるといわれる。では両語はどのように違っているのか、考えてみたい。「幼い」は「時、頃、一人っ子の直哉、人生、記憶、獣、母ぶり、眼、心、手つき、声、考え方」と共起して幼少か未熟の様子を表す。表現主の主観的な感じよりも主に相手の年齢か未熟なさまを表す。それに対して例(13~17)で見ると、「幼らしい」は「ホッペ、ポージング、容姿、顔、声、ねだる」などと共起して表現主が相手を見て受けた視覚的・聴覚的な感じを表す。辞書では両語とも「子供っぽい」と解釈されているが、「幼らしい」は客観的な表現の「幼い」とは違って、相手を見た時の表現主の主観的な感じである。(以下、   は形容詞、   は形容詞とコロケーションを作る言葉を表す。)

- (1) 彼は東京の下町育ちで、幼い時から歌舞伎や日本踊になじむうちに長唄の文句くらいは覚え、自ずと耳慣れているが、自分で習いはしなかった。(100。雪国)
- (2) 幼い頃の遠い夢をでも辿るような気がするのです。(100。痴人の愛)
- (3) 石巻から東京へ帰って来た幼い一人っ子の直哉は、志賀家の大事な跡とりとして、祖父母の部屋へ引き取られ、祖母留女の盲目的愛情を受けて育った。(100。志賀直哉の生活と芸術)
- (4) 八つの時、私の幼い人生にも、暴風が吹きつけてきたのだ。(100。放浪記)
- (5) が、この婆娘は虫が好かぬ。何為か、その上、幼い記憶に怨恨があるような心持が、一目見ると直ぐにむらむらと起ったから(100。国貞えがく)
- (6) 西の丘の斜面でその隊列を待っているのは門からあまり遠く離れることのできない老いた獣や幼い獣たちだ。(100。世界

の終わりとはードボイルド・ワンダーランド)

- (7) 実際また自分より年上の男をいたわる女の幼い母ぶりは、遠目に夫婦とも思われよう。(100。雪国)
- (8) 定めしお志保もこの古壁の前に立って、幼い眼に映る絵の中の男女を自分の友達のように眺めたのであろう。(100。破戒)
- (9) 浜松一中の入学試験には失敗したが、これは祖母の死や環境の変化が幼い心に動揺を与えたせいであろう。(100。あすなる物語)
- (10) あんなに恥知らずな姿を敢えてした、あの女と、この幼い手つきとのあいだに、一種の不均衡なもの、片端なものを感じられた。(100。青春の蹉跎)
- (11) ルリ子もこの歌を徹といっしょに幼い声で歌っていたのを啓造は思い出した。(JP.氷点)
- (12) 来年 40 歳ですが、幼い考え方の自分が気持ち悪いです。  
(onayamifree.com)
- (13) 瞼のシャドウで下睫毛とのバランス取れたのでタレが緩和されます。タフン下睫毛だけをオーバー気味にすると変になる気がします。チークは幼らしいホッペ集中型。(nyandawannyan.dawan.blog.fc2.com/blog-category-111.html)
- (14) 今回の写真は、この間秋葉原にて撮ったもの！ 拡大！ 「ここだよ！」(中略) 少しは、幼らしいポージングにも挑戦。先日購入したアイを試験的に装着。意外と緑も似合うひーくんです。(caprice-mots.jugem.jp/?cid=14)
- (15) ショートの茶髪に、幼らしい容姿。(https://novel.syosetu.org/10871/7.html)
- (16) すごい元気ですよー(^ω^) 声と顔は幼らしいです！  
(http://skypech.com/id/yanenouenokiki)
- (17) 此処のこと、私は夜が更けるまで寝ることが出来ない、あわれと思ってもう暫くつきあって、そして諸国を行脚なすった内のおもしろい談を、とって打解けて幼らしくねだった。

(100。高聖野)

「幼い」の基本義は「年齢が低い」ことである。基本義からメトニミーによって「外見や表情が若く見えるさま」、「声が若く聞こえるさま」の意に変わる。そして、またメトニミーによって「幼稚だ」の意味に拡張する。一方、「幼らしい」は「幼い」の「年齢が低い」という基本義ではなく、派生元「幼い」がメトニミーによって拡張した「外見や表情が若く見えるさま」、「声が若く聞こえるさま」の意味に「いかにも」の心理を含めて用いられるのである。「幼稚だ」の意で用いられる例

は観察されなく、専ら表現主が対象を見て幼い感じがする用例である。つまり、表現主の主観的な感じよりも主に相手の年齢か未熟なさまを客観的に表す「幼い」に対して、「幼らしい」は表現主が相手を見て受けた主観的な感じを表すのである。

(表2)「幼い」から見た「幼らしい」の意味構造

意味	「幼い」の用例	「幼らしい」の用例
1. 年齢が低い。幼少である。	幼い一人っ子。 幼い記憶。	—
1.1 外見、表情が若く見える。	幼い眼。幼い人生。	—
1.2 声が若く聞こえる。	幼い声。	—
2. 幼稚である。	幼い考え方。	—
3. いかにも幼い感じである。	—	幼らしい様子。
3.1 いかにも外見、表情が若く見える。	—	幼らしい顔。 幼らしいポーズ。 幼らしい容姿。
3.2 いかにも声が若く聞こえる。	—	幼らしい声。

(「—」は該当用例がないことを表す。以下同。)

#### 4.2 可愛らしい

『デジタル大辞泉』と『明鏡国語辞典』における意味記述を見ると、「可愛らしい」も「可愛い」も「小さい」「無邪気」「愛しい」という意味特徴を持つと述べられている。「可愛い」の「可哀相だ。不憫である」の意味を除いては両語は似ている意味を持っている。しかし『明鏡国語辞典』では「可愛らしい」は「もっぱら物事を描写するといった趣が強い」と記述されているが、实例を考察してみると、そうでもないようである。確かに次の用例では「可愛らしい」は「小説、ベッド、タコの頭、顔立ち、目、口、手、様子、名前」というような物事を修飾しているが、そのほかに「猫、生徒、子、女、フィアンセ」のような物事でない生物とも共起して

いる。

- (18) ポオルとヴィルジニイなんて、可愛らしい小説じゃあないの（100。放浪記）
- (19) 八畳くらいの広さの部屋があって、中央には青いカバーの掛けられた可愛らしいベッドがあった。（100。若き数学者のアメリカ）
- (20) 金沢のおでん屋は、東京とは少しちがう。安直でありながら、かなりぜいたくだ。まず、タコにフキ。可愛らしいタコの頭を丸かじりすれば香ばしい匂いがあたりに漂う。（100。風に吹かれて）
- (21) つまり彼等は西洋人臭い、ハイカラな、可愛らしい顔だちの少年や少女を見ると、一も二もなくその児を伶俐だと云う風に感ずる。（100。痴人の愛）
- (22) 田中の正太は可愛らしい眼をぐるぐると動かして、幻燈にしないか、幻燈に、（後略）（100。たけくらべ）
- (23) 誰も彼もが、このおとなしい、目鼻立ちのよい赤子を抱きたがった。「ほんとに、なんて可愛らしい。なんてまあ可愛らしい。ほら、このお口、このお手々」と言いたがった。（100。榆家の人々）
- (24) 源氏が歩み寄ってみると、小づくりな、可愛らしい様子でいそいで起き上った。（100。新源氏物語）
- (25) 少し鼻にかかった可愛らしい声でそう言われ、僕はようやく目を開いた。（JP。半分の月がのぼる空第 08 巻）
- (26) あなたから届いた手紙を郵便受けから取り出して、台所にいた私に手渡してくれた育子さんが、奥様にはこんな可愛らしいお名前のお友だちがいらっしやったのかと、吹き出しそうに言いました。（100。錦繡）
- (27) 「ほんとうに、可愛らしい猫ですこと」（100。新源氏物語）
- (28) 「河合先生」もこの可愛らしい生徒に対しては厳格にする勇気がなく、叱言の果てがたわいのない悪ふざけになってし

まいます。(100。痴人の愛)

(29) 僕はその子に情が移ると困ると思って、名前も何も聞かないことにした。可愛らしい子だが、幸い向うも何ひとつ云わないから僕は気が助かると思った。(100。黒い雨)

(30) 朱色の着物を着た可愛らしい女が、ホテルのポーチで黒い犬をあやして一人でキャッキョッと笑っていた。(100。放浪記)

(31) 上野駅には、原田が可愛らしいフィアンセと一緒に、先に来て待っていた。(JP。みちのく殺意の旅)

一方、「可愛い」は普通、ある下位の人に対して愛し慈しむ気持ちを覚える状態である<sup>2</sup>が、現代では「可愛いじいちゃんばあちゃん」というような表現も見られる。そして、その対象の身体部位、いうこと、笑い声、眼差し、姿、水着、足、靴、玩具、ダンスの草履などの様子を表すこともある。また、小さい動物やその動作に対して愛し慈しむ気持ちを覚える状態を表すこともある(可愛い鳥)。森田(1989)では「可愛い」は植物に対してはふつう言わない、と述べられているが、自然界の「タンポポ、花の姿、湖」(例 44~46)や音声関係の「リズム」(例 47)と共起する用例が観察された。

(32) 可愛い娘に逢ったのが一生の思い出。(100。高野聖)

(33) 滝は十八位だった。色は少し黒い方だが可愛い顔だと彼は思っていた。(100。好人物の夫婦)

(34) 何とも可愛い姿なので源氏は抱きあげてあやさずにはいられない。(100。新源氏物語)

(35) 「可愛いことをいう」(100。新源氏物語)

(36) 静かな雪の庭には、可愛い笑い声がみちて、ほのぼのと、辺りへひろがっていった。(100。新源氏物語)

(37) 純子が、可愛い眼差しで、上目づかいに谷口を見ると(後略)(100。女社長に乾杯)

---

<sup>2</sup> 森田(1989:360)を参照。

- (38) 何とも可愛い姿なので源氏は抱きあげてあやさずにはいられない。(100。新源氏物語)
- (39) 十歳くらいの女兒で、水玉模様の可愛い水着をつけていて無心に砂を掘ったりかき集めたりしていた。(100。若き数学者のアメリカ)
- (40) ナオミは銘仙の着物の上に紺のカシミヤの袴をつけ、黒い靴下に可愛い小さな半靴を穿き(後略)(100。痴人の愛)
- (41) 冷い白い肌に一点、電燈の像を宿している可愛い水差しは、なにをやる気にもならない自分にとって実際変な魅力を持っていた。(100。檸檬)
- (42) この弟の方はすこし青味がうすいが、それでも、まあ、なんて可愛い鳥やろうなあー(100。ビルマの豎琴)
- (43) しつこく遊んでおねだりをしていたアミちゃんですが、しつこすぎて大人猫さんに怒られちゃいました。そんな時にカワイイポーズでおねだりをします(funny-movie.biz)
- (44) じつとりと汗ばむ陽の光の中に、散りぎみの八重桜が重たく花を咲かせ、くまんばちが蜜をすって花卉をのぞき回り、すっかり若草色になった地面には、黄色の可愛いタンポポが青空の中で太陽光線をうけている。(100。二十歳の原点)
- (45) 汚い台所の小窓に、スカートをいっぱい広げた子供のような可愛い花の姿である。(100。放浪記)
- (46) 森の中の小さな、お人形のように可愛い湖にたどりついて、一休みした後、岸辺で何を思ったらよいのか。(100。若き数学者のアメリカ)
- (47) 私はその衣ずれのようなまた小人国の汽車のような可愛いリズムに聴き入りました。(100。檸檬)

文型から考察してみれば「(表現主)は(対象)が可愛い」が多く用いられているが、「(表現主)には(対象)が可愛い」の文型も見られる。ここの「が」は表現主に愛情をもって大事にしたいと思わせる相手であるので表現主の主観的な表現である。一方、「可愛らし

い」にはこのような文型は観察されなかった。これで分かるように「可愛い」は表現主体の主観的表現であるのに対して「可愛らしい」は客観的な描写表現である。

(48) 菊園の若主人夫婦は別に開化の人間でもなかったようですが、なんにしても子供が可愛い。(JP。半七捕物帳)

(49) 「ああ、気違いよ。……あたし今夜は気違いになるほど譲治さんが可愛いんだもの。(100。痴人の愛)

(50) 「父上はわが子であるこの義竜よりも、隣国の婿どどののほ  
うが可愛いのか」(100。国盗り物語)

(51) おれ自身が何よりも可愛いから歌を作る。(JP。一利己主義者と友人との対話)

(52) 人を馬鹿にしたように、小さい方の右の眼だけで笑っている、その様子が、順造は急に堪らなく可愛くなった。(JP。幻の彼方)

(53) (前略)と紫の君がいうのも、源氏には可愛かった。(100。新源氏物語)

(54) あなたには子供が可愛いというのがどんなんか、ちっとも解ってやしないのです。(JP。贗物)

「可愛らしい」の派生元「可愛い」の基本義は「小さい人・動物に愛情を感じ大切に思う様子」である。基本義からメタファーによって「外見・表情が愛らしいさま」を表すようになり、またメタファーによって「動きや声が愛おしいこと」の意になるが、「生物が愛おしい」意からメトニミーによって「物が愛おしい」意に変化する。さらにメトニミーによって「弱点・失敗がかえって愛らしい」と意味拡張する。但し、「可愛い」は語源の「顔映し」より「かほはゆし→かほはゆし→かほゆし」という順に成立したもので、現代語では「弱点・失敗がかえって愛らしい」意は派生義のように見られるが、本当は古語の基本義の「不憫だ。気の毒で見てられない」意における「見てられない」ということから「気恥ずかしい」意味が強調されるようになった。宮本(2008: 210-211)によれば恥ずかしくて正

視できないこと  
からほうってお  
けないというニ  
ュアンスに転じ  
て現代語の「弱  
点・失敗がかえ  
って愛らしい」  
意ができたとい

(表3) 「可愛い」から見た「可愛らしい」の意味構造

意味	「可愛い」の用例	「可愛らしい」の用例
1. 小さい人・動物に愛情を感じ大切に思う様子を表す。	可愛い娘/猫。 あの夫婦は自分の子供が可愛いね。	可愛らしい子/女/猫。
2. 外見・表情が愛らしい。	可愛い顔/姿。	可愛らしい顔立ち/眼/口。
2.1 動きが愛らしい。	可愛いしぐさ。	可愛らしい様子。
2.2 声が愛らしい。	可愛い笑い声。	可愛らしい声。
3. 物が愛らしい。	可愛い水差し。	可愛らしいベッド/小説。
4. 弱点・失敗がかえって愛らしい	厳しい課長の寝ぐせが可愛い	—
5. 愛嬌や魅力が感じられる。感動詞に転成する。	「わあ、かわいい」	—
6. 「可愛くない」という否定形で魅力がない、嫌だ」の意を表す。	「あのセクハラ課長、かわいくない」	—

う。さらにメトニミーによって感動詞に転生し、否定形「可愛くない」で「嫌だ」の意を表す<sup>3</sup>。

一方、「可愛らしい」の意味は派生元「可愛い」の基本義「小さい人・動物に愛情を感じ大切に思う様子を表す」意と同じように用いられるほか、メタファーによる「外見・表情が愛らしい」「動きが愛らしい」「声が愛らしい」「物が愛らしい」という転義で用いられるものもある。しかし、「可愛い」における「弱点・失敗がかえって愛らしい」「愛嬌や魅力が感じられる。感動詞に転成する」「否定形で魅力がない、嫌だ」という転義としての用例は観察されなかった。

#### 4.3 汚らしい

まず「汚い」と「汚らしい」の用例を見てみよう。

(55) 砂浜の汚い藻の上をふんで歩いていると (100。放浪記)

(56) 汚い学生服を着て街にでている高校生をみるとあたしは顔をそむけました。(100。聖少女)

<sup>3</sup> 明治大学四方田犬彦教授は幽玄やわびとともに「『かわいい』という美意識も二一世紀の美学と呼べるかもしれない」と指摘している。宮本 (2008: 209-211) は、「オタク文化」の根底にあるのは「かわいい」という新しい美意識であるが、一般的には大きいものより小さいもの、角張ったものより丸みのあるもの、バランスの良いものよりアンバランスなものが「かわいい」と評される傾向が強い、と述べている。1996年に台湾の哈日杏子によって「哈日」という言葉ができたが、この「哈日族」は「可愛い」が主要要素である日本文化を好むグループのことである。“English Oxford Dictionaries”にも‘kawaii」という言葉が見出し語になっている (2017年2月10日検索)。ちなみに宮本 (2008: 13) によれば「かわいい」と評されるのは、未熟なために助けを必要とするか弱いもの、小さくて今にも壊れてしまいそうなもの、単純無垢ですぐに汚れてしまいそうなものを「守ってあげたい」と感じる愛着を指している。それ自体が「未完の美」である、という。

- (57) ぼくは畳のうえに坐りこんで汚い千円札をゆっくりと引き裂いた。(100。聖少女)
- (58) もう一葉の写真は、最も奇怪なものである。(中略)それが、ひどく汚い部屋(部屋の壁が三箇所ほど崩れ落ちているのが、その写真にハッキリ写っている)の片隅で、小さい火鉢に両手をかざし、こんどは笑っていない。(100。人間失格)
- (59) 汚い露路の奥の、二階家で、堀木は二階のたった一部屋の六畳を使い、下では、堀木の老父母と、それから若い職人と三人、下駄の鼻緒を縫ったり叩いたりして製造しているのでした。(100。人間失格)
- (60) 坂本町で降りると、汚い公園が目の前にあった。(100。放浪記)
- (61) 顔はあんなににきびだらけで汚いけれど、歌を唄わせるとほんとに素敵よ。(100。痴人の愛)
- (62) 掌にも汚い汗がにじみでていた。(100。聖少女)
- (63) 大体江戸って処は文化が浅いのに、周囲の農家の方言が入って来ているから、音が汚いんだなあ……江戸っ子ぶることなんか自慢にならないよ」(z100。食卓のない家)
- (64) 「あんな汚い海で泳げはしないわ」(100。痴人の愛)
- (65) ふと孔子のそんな言葉が口から出て来たが彼にはそれも汚い言葉のように思われた。(z100。旅愁)
- (66) きれいな言いかたをすれば指折り数えて待っていたとなるし、汚い言いかたをすれば手ぐすねひいて待っていたとなるう。(z100。ながい旅)
- (67) 「意地の汚いことをいうな」(z100。新吾十番勝負)
- (68) 他の不幸を出汁にして、太ろうなんて汚い奴らは相手にしないのが、まともな人間というものですよ(z100。食卓のない家)
- (69) 〈そうだよ、そうだよ？俺は汚いキャバレー屋だよ！〉  
(z100。女の警察)

- (70) 向こうは色々と汚い手を使って来るのよ。こっちだって対抗しなきゃ。(100。女社長に乾杯)
- (71) 人にこびへつらっている自分の汚い行動も起源はそこにあると思われた。(JP。Z00)
- (72) それを卑怯だとか汚いとか言われた所で、彼は眉一つ動かさないだろう。(JP. とある魔術の禁書目録 第04巻)
- (73) そして俺が箸を取ろうとすると、汚い!と呶鳴った。(z100。射程)
- (74) 「胸が悪くて叶わないということにして、江島屋の庭を唾だらけにして」「汚いな」(z100。八五郎の恋)
- (75) とりあえず政治家を片っ端から調べる部署を頼むわ金に汚い政治家が多すぎる。(jin115.com/archives/52117904.html)
- (76) かつて、母と僕が暮らしていたような汚らしいアパートだった。(JP。殺人勤務医)
- (77) その箱車のなかには、鐘詰の鐘やら、唐もろこしの皮やら、英字新聞の黄ばんだのやら、草花の枯れたのやらが、一種汚らしい美しさで、ぎっしりと詰まっていた。(100。美しい村)
- (78) 細君は夫の前に広げてある赤い印の附いた汚らしい書きものを眺めた。(JP。道草)
- (79) 私は駅前に残っている汚らしい色をした雪の固まりを避けながらタクシーを探す。(JP。レクイエム)
- (80) ところが……彼の放りこまれていたきたならしい納屋の片厩が開いて、一人の役人がはいつてきた(z100。死せる魂)
- (81) 襟首にきたならしい髪を伸ばした三十歳ほどに見える運転手は、そのまま走り出した。(z100。氾濫)
- (82) 言葉で表現するのは難しいのですが、もともと声大きいせいかひび割れていて、汚らしい音なんです。(detail.chiebukuro.yahoo.co.jp)
- (83) インキュベーターの台に広がっていた肉の塊が汚らしい湿った音を立てて床へ落ちた。(JP。パラサイト・イヴ)

- (84) ほんとにわたし、自分の身体がきたならしくて……、お風呂へ入るとき……死ぬような思いですわ。(z100。永遠なる序章)
- (85) きたならしい河の水には血と油とが混っていた。(z100。死の島)
- (86) (引用者注：ある女の悪口を言っている北見先生のことを見て) 職員室のなかでそういう話をしている北見先生を、彼女はきたならしく思った。若い先生は決して言わない言葉だった。初老の男のきたならしさだった。(z100。人間の壁)
- (87) 霧子の気持ちと自分の気持ちが、かけはなれすぎていたので、まきはあとの悪口がいえなくなった。考えてみれば、悪口を言っている自分のほうが、よほどきたならしい。(z100。さきに愛ありて)
- (88) 同病相憐れむようにまきと月子が一緒になり、おたがいを馬鹿にしたり許しあったりする様子は、ひどくきたならしい。(z100。さきに愛ありて)
- (89) (前略) と信長が事情をきいた。村童は、このきたならしい装束の小僧がまさかお城主の若様だとは知らないから(後略)(100。国盗り物語)
- (90) 加藤が席に戻ると赤い水になった氷が彼の机の上に置いてあった。ひどくきたならしい水に見えた。(100。孤高の人)
- (91) 私も汚らしい手口で無理やりな韓国押しをするので腹が立っています。卑怯だし汚いし。(http://blogs.yahoo.co.jp/flattwin/69114565.html)

「汚い」の基本義は「汚れていて不快な感じを与えるさま」である(汚い藻/札/学生服など)。メトニミーによって基本義が「乱雑で不快な感じを与えるさま」(汚い部屋/公園/露地)、「水が濁っているさま」(汚い海/水)、「人格が善良でなく、卑怯だ」のように転義する。そして「乱雑で不快な感じを与えるさま」からまたメトニミーによって「普通でない容姿」(汚いにきびができた顔/手の

ひらの汗)、「言葉が乱れている」、「音が澄んでいないこと」(汚い音/声)、「装束がきれいでない」というように意味拡張する。特に「～に汚い」の形で「欲が深く何かに執着する気持ちが強いさま」を表す意として用いられる。共感覚の視点から見れば、気持ちから視覚、聴覚、性格、人格を表すような意味変化のプロセスである。

「汚らしい」は「汚い」の基本義と転義に「いかにも」の強調のニュアンスを含めて用いられるのである。「何かが見るからに不快を感じさせるさま」を表す「汚い」に対して、「汚らしい」は抽象的な「汚い手口」以外は、具体的な汚いものから受ける印象が悪いことを表す。つまり、「汚い」は具象物でも抽象物でも汚れているさまを表す。物事のほかに、人の卑怯な性格、やり方、対人態度に対して嫌悪感が強いこ

とを表す。一方、「汚らしい」の殆どの用法は「いかにも汚い」という意味でより直接的に不潔感を強く表現するニュアンスであるが、「～に汚らしい」の用例も感動詞としての用法も見られなかった。両語ともマイナスイメージの形容詞である。

(表4)「汚い」から見た「汚らしい」の意味構造

意味	「汚い」の用例	「汚らしい」の用例
1. 汚れていて不快な感じを与えるさま。	汚い服/札	汚らしいアパート/布団
2. 乱雑で不快な感じを与えるさま	汚い部屋/露地/公園	赤い印の付いた汚らしい書き物。汚らしい色
2.1 普通でない容姿	にきびだらけの汚い顔	汚らしい髪/身体
2.2 言葉、言動が乱れている	汚い言葉	人の悪口をいつている汚らしい自分
2.3 音が澄んでいないこと		汚らしい音
2.4 色、装束がきれいでない		汚らしい装束
3. 水が濁っているさま	汚い海	汚らしい水
4. 人格が善良でなく、卑怯だ。		汚らしい初老の男
4.1 (「～に汚い」の形で) 欲が深く、何かに執着する気持ちが強いさま	金に汚い政治家	—
5. 感動詞に転成する。	汚い!汚いな。	—

#### 4.4 怖らしい

「怖い」は「不安や恐怖を感じる」気持ちが基本義である。例えば、「～が怖い」「怖い夢」「怖い病気」はその例である。そしてメトニミーによって「恐怖や不安を感じる気持ち」から「好奇心をそそられ見たくなる気持ち」(怖いもの見たさ)や相手の「厳しさ」(先生が怖い)、「怒ったような様子」(怖い顔、怖い目つき、怖い声)、「不思議な能力がありそうな様子」(馬鹿ほど怖いものはない)、「軽視できないさま」(底の知れない怖い女)に意味変化

する。感動詞に転生する用法も少なくない。一語文の場合もあるし、「ああ」「まあ」などの感動詞か「わ」などの終助詞との共起が多い。また、「怖いほど」の形で副詞的に用いられることもある。

(表5) 「怖い」から見た「怖らしい」の意味構造

意味	「怖い」の用例	「怖らしい」の用例
1. 不安や恐怖を感じる。	怖い夢。怖い病気。	犬が怖らしい。
2. 厳しい様子。	怖い父親。怖い先生。	—
3. 怒ったような様子。	怖い顔。怖い声。	怖らしい声。
4. 不思議な能力がありそうな様子。	馬鹿ほど怖いものはない。	怖らしい大目玉。
5. 軽視できないさま。	底の知れない怖い女。	—
6. 好奇心をそそられ見たくなる気持ち。	怖いもの見たさ	—
7. 感動詞に転生する。	怖いわ。まあ、怖い!	—
8. 副詞的用法に転じる	怖いほど真剣な目つき。	—

「怖らしい」は「～が怖らしい」形で用いられるのもあるが、多くは「怖らしい+名詞」の形で「いかにも怖そうな様子、恐ろしい感じ」を表す。本研究の考察では、共起名詞は表情、声を表す語もあったが、人を表すものが大部分である。「怖い」の強調形とはいえ、直接的に感情を表す「怖い」とは違って、「怖らしい」は見た様子に対する表現なので感動詞や副詞的用法への転生の例は観察されなかった。

(92) 上司が怖い。先輩が怖い。怒られるのが怖い。

(<http://dai2sinsotu.com/kowai/>)

(93) 「お前、何だか魔されていたようだね」「ええ、怖い夢…  
…夢でよかった」(z100。丹下左膳)

(94) 今でこそ淋疾はペニシリン、クロマイといった抗生物質が出来てさして怖い病気でなくなったが、(100。花埋み)

(95) ラジオは食堂にあるのだが、今、そこに恐るべき重大事が言葉によって発せられる。怖いもの見たさの反対である。(100。黒い雨)

(96) 先生は怖いから大変年をとった人だと思ったが、多分三十位だったかも知れない。(JP。旧聞日本橋)

(97) 伸子は精一杯の怖い目つきをして見せた。(z100。女社長に乾杯)

(98) 惟光は逃げ出そうとした息子呼びとめ、「誰の手紙だ!」と怖い顔をした。(100。新源氏物語)

- (99) わたしが怖い声を出して叱ったら、びくっとして、放り出して逃げていった。(JP。旅芝居殺人事件)
- (100) 何が怖いのがわからない恐怖ほど怖いものはない。(JP。着信アリ Final)
- (101) 「馬鹿ほど怖いものはない」望月源之輔の声だった。(JP。恐怖)
- (102) あの娘は決して悪人ではないだろうが、底の知れない怖い女だよ (z100。銭形平次捕物控 (八))
- (103) 「マア怖い!」萩乃は、団扇で顔を隠して (z 100。丹下左膳)
- (104) 屋根船の灯の半分を消して、軒に提げた提灯も幾つかは吹き落されてしまいました。「あッ、怖い」(z100。銭形平次捕物控 (七))
- (105) 「怖いわ。もし大后に知れたらどうしましょう」(100。新源氏物語)
- (106) ヤスの、「怖いよ、怖いよ」という声を聞いたような気がした。(蒲田行進曲)
- (107) 彼女はあっさりそう言うと、怖いほど真剣な眼つきで壁の方を見ていた。(JP。海市)
- (108) 私は何の事だか少しも分らず、つまらぬ事に腹を立てる、怖らしい人よと、ふと心に思ひました。(JP。『こわれ指環』)
- (109) 「ハイ、あの丹下様という、片眼片腕の怖らしいお侍さんに伴れられて――。」(z100。丹下左膳)
- (110) 「姓は丹下、名は左膳とかいう、かた眼片腕の怖らしい浪人者が (後略)」(z100。丹下左膳)
- (111) 「姉さん怖かありませんか」 「怖いわ」という声が想像した通りの見当で聞こえた。けれどもその声のうちには怖らしい何物をも含んでいなかった。(JP。行人)
- (112) どんな客が呼んでも参上するというわけではなく、おそらく怖らしい軍人が呼んだというので気にかかったのだろう。

(JP。ラスプーチンが来た 山田風太郎明治小説全集 11)

(113) お絃は、思わず怖らしい声になっていた。(JP。魔像)

(114) 鋭い、怖らしい大目玉も笑い皺に囲まれれば、別人のよう

にしたしみやすくなる。(JP。絵島疑獄 (下))

(表6) 「憎い」から見た「憎らしい」の意味構造

意味	「憎い」の用例	「憎らしい」の用例
1. 相手を不快に思っ嫌う感情を抱く様子。	日本軍が憎い。憎いやつ	彼女が憎らしい。
2. 相手の言動や様子が素晴らしいので感心してしまうことを表す。	憎いほど羨ましい。憎いほど大胆だ。	あまり強いから憎らしく思った。憎らしいほど綺麗だ。
3. 相手がこちらが「憎い」と思うような言動や様子をするさま。	—	憎らしい私の煩惱。憎らしい顔。憎らしそうな顔/声先生を憎らしく思った。
4. 感動詞に転生する。	憎い。	憎らしい。まあ、憎らしいわ。

#### 4.5 憎らしい

「憎い」の基本義は「何に敵意や反感をもち、許せないと思うほど不快で嫌う気持ち」を表す。憎悪を表すも

っとも一般的な形容詞だといわれる<sup>4</sup>。このマイナスイメージの基本義からメトニミーによって「憎いほど羨ましい」のように「好きだ。感心した。素晴らしい」という反語的用法に転じ、プラスイメージになる。感動詞に転じる用法もある。「憎らしい」は「～が憎らしい」「～ほど憎らしい」の形で「憎い」と同じように相手がこちらが「憎い」と思うような言動や様子をするさまを表すし、感動詞に転じる用法もある。また、前述の「幼らしい、可愛らしい、汚らしい、怖らしい」及び後述の「惨らしい」とは違って「憎らしそうだ」の形で用いられることがあるが、それは派生元形容詞に「いかにも」のニュアンスが加えられて用いられるのではなく、相手の言動などの様子を表すからである。

(115) 「でも、あなたが憎いわ」(z100。化石の森)

(116) 日本軍が憎くて、憎くてたまらなかった、(z100。肉体の門・肉体の悪魔)

(117) 自分の肉体がむしろ憎い (z100。巴里祭・河明り)

(118) 橋わたしの約束に背いて、わが事しか考えない、憎い源十

<sup>4</sup> 飛田 (1991 : 426) による。

郎の殿様！（z100。丹下左膳）

- (119) 俺はお前が誰よりも可愛いが、誰よりも憎い。（z100。愛慾・その妹）
- (120) 「やっぱり、辻斬か。憎いな」（z100。銭形平次捕物控（二））
- (121) 憎い程、羨ましい（z100。仇討浄瑠璃坂）
- (122) むしろ機嫌のよい証拠には、両の頬に憎いほど魅力のある  
えくぼが、ふっと泛んでいる。（JP。夜光虫）
- (123) 大きな淋しい空に對して鋭い對照をなして、憎いほど大膽  
な雀よ。（JP。自分は見た）
- (124) 梢の美貌は、憎いほど周囲の雰囲気と環境にマッチして  
いた。（JP。虚無の道標）
- (125) その当時「ほんに憎いよ、春曆さん」ということばが、巷  
間に流布したくらいである。（JP。人形佐七捕物帳 12）
- (126) あまりの腑がいなさにジリジリして、心から彼女が憎ら  
しくなって来るのでした。（100。痴人の愛）
- (127) が、そう云う感じを以て見ると、一層それが憎らしく汚ら  
しくなって来るのでした。（100。痴人の愛）
- (128) 本統に憎らしいわ、あんなうまい事を云って（100。流行  
感冒、小僧の神様・城の崎にて）
- (129) 誰も彼も憎らしい奴ばかりなり。（100。放浪記）
- (130) その時の私は腹の中で先生を憎らしく思った。（100。ここ  
ろ）
- (131) 憎らしい私の煩惱よ、私は女でございました。やっぱり切  
ない涙にくれまする。（100。放浪記）（擬人化）
- (132) 岡村の顔を見れば、それほど憎らしい顔もして居らぬ。（100。  
野菊の墓）
- (133) しかもだんだんその憎らしさが底の知れない美しさに変わ  
て行くのでした。（100。痴人の愛）
- (134) 「まあ、憎らしい事ばかり仰有います。（100。邪宗門、羅  
生門・鼻）

- (135) 「あんまり強いから憎らしくなったのですよ」(z 100。新吾十番勝負)
- (136) あたしはあんたが憎らしかったわ。可愛すぎたから。今だって結構まだ可愛いけど (100。楡家の人々)
- (137) 「入りぬる磯の」と、恋歌を口ずさんで、袖で口を掩っているさまがおとなっぽく美しい。「おやおや、憎らしいことをいうね。だれだね、そんな早熟たことを教えたのは。(100。新源氏物語)
- (138) あの憎らしい、慕わしい伊賀の暴れん坊！(z 100。丹下左膳)
- (139) 欧で本当に憎らしいほど綺麗なのは、スウェーデンの都会の娘たちだけだと私は思う。(100。風に吹かれて)
- (140) 空をみた。憎らしいほどに晴れ渡っている。(100。国盗り物語)
- (141) 「まあ、憎らしいわ」(z 100。人間の壁)
- (142) 「あア、憎らしい！」(z 100。新吾十番勝負)
- (143) 何しろ女たちは夜叉みたいに猛り立っていたのでね。あんなに憎らしそうな顔の集まっているのを僕は今までに一度も見たことはありません。(JP。ジーキル博士とハイド氏の怪事件)
- (144) 一方の女三人は、なかなか落ち着いている。すると障子一枚を隔てた向こう側から、憎らしそうな声が漂ってきた。(JP。我が家のお稲荷さま第 01 巻)
- (145) 千原は芳子の立って行った後で、憎らしそうに言った。(z 100。食卓のない家)

寺村 (1982 : 152) は「憎い」を「感情形容詞」、「憎らしい」を「感情的性状規定の形容詞」と呼んでいる。言い換えれば、「憎い」は表現主体の気持ち、感情という心理を表し、「憎らしい」は「憎い」を思わせる対象の性質を表すのである。

#### 4.6 惨らしい

まず用例を見てみよう。現代語では「惨らしい」の用例はあまり多く見られない。「用例 JP」では「惨らしい」と表記されている用例がいくつかあるが、「むごたらしい」は普通「惨たらしい」と表記するので、本稿ではそれらの例を「惨らしい」と見なす。

(146) 「取って抑えて何者の仕業ぞ、惨らしき縄からげ」〈露伴・風流伝〉(デジタル大辞泉)

(147) その不思議な沈黙が、互いに呼びかわす惨らしい叫び声よりもかえって力強く人々の胸に響いた。(JP。生まれいずる悩み)

(148) 恐ろしい事に、この可愛い少女は、この惨らしい血の滲んだ傷に、残虐な魅力を、舐めたい衝動を、感じたのかも知れない。(JP。夢鬼)

(149) 一夜の中に此の二人の生命が惨らしく失われてしまったのです。(JP。彼が殺したか』)

(150) そのときは、よもやこんな惨らしいことになるうとは思いませんでした。(JP。赤外線男)

(151) まことに戦争とはムゴイものです。(中納言。神の記録)

(152) いやもう、二た目と見られませぬ惨い傷で……(z100。丹下左膳)

(153) それは決して惨いとか冷淡とかいう声の響きではなかった。(z100。巴里祭・河明り)

(154) 俺が居さえすればこんな惨い目に逢わせなかった(z100。銭形平次捕物控(九))

(155) 結果的には、羅旋ですらまんまと乗せられて、惨い戦をさせられたのだ。(JP。五王戦国志8 天壤篇)

(156) 惨い事件の犠牲者ではなく、罪の報いを受けた加害者になったのだ。(JP。黒祠の島)

(157) そうすることで、この惨い現実が消えてしまうのを願ったのかもしれない。(JP。BLOODLINK 第01巻)

(158) リンダも知っていたのだろうか？ 高校生活のラストシー

ン直前に用意されていた、この惨すぎる抹殺劇を。(JP。ゴールデンタイム 02 巻 答えは YES)

(159) 正確な話は知らないが、遠野慎久は小動物を買ってきては惨い方法で殺して捨てていたという。(JP。歌月十夜 01 本編)

(160) 彼らの惨い姿は、一瞬見ただけでもう眼に焼きついてしまっている。(JP。うみねこのなく頃に)

(161) その少女の惨い死に様を、最初に見付けたのがシスターだったのだ。(JP。Jの神話)

(162) 幼い頃に、この世で最も惨いもの、自分の家族の腐乱死体を間近で見ているのだ。(JP。紅 第02巻 ～ギロチン～)

(163) それはさっきの、あの、惨い言葉と視線の主どものことか。(JP。わたしたちの田村くん 第01巻)

(164) 青ざめると、目の周りのしわや肌の荒れが、惨いほどによく目立った。(JP。模倣犯 上)

(165) あれほどの大手柄をたてた艦に、なんと惨い御褒美でしょう。(JP。太平洋雷撃戦隊)

「惨い」の基本義は「残酷で、見るに耐えないほど痛ましい様子」を表す。その基本義からメトニミーによって「思いやりがなく、無慈悲である」意に変わる。心理というよりも何かの事実や現象を客観的に表現する言葉である。

「惨いほど～」の形で程度の高いことを表し、「惨い御褒美」のような反語的用法も観察された。それに比べて派生形容詞「惨らしい」は「惨い」の基本

(表7) 「惨い」から見た「惨らしい」の意味構造

意味	「惨い」の用例	「惨らしい」の用例
1. 残酷で、見るに耐えないほど痛ましい様子。	むごい傷。 惨い声の響き。 惨い戦。惨い事件。惨い姿。	惨らしい叫び声。 惨らしい血の滲んだ傷。 惨らしい光景。 惨らしく生命が失われる。
2. 思いやりがなく、無慈悲である。	惨い言葉。惨い話。 惨い返事。惨い宣告。 惨い嘲弄。惨い会話。	—

義に「いかにも」のニュアンスが加えられる表現で、「思いやりがなく、無慈悲だ」という意味拡張による用法は見られなかった。「惨らしい」も「惨い」もマイナスイメージである。

## 5. おわりに

本研究の考察結果をまとめると次のようになる。派生元形容詞

「Xい」をもつ派生形容詞「Xらしい」は量的には多くない。「形容詞語基+らしい」に

おける形容詞には語彙制限があり、本研究で採集されたのは僅か「幼らしい、可愛らしい、汚らしい、怖らしい、憎らしい、惨らしい」の6語である。「いかにも」のニュアンスを加えて派生元形容詞「Xい」の意を強調する表現であることはこの六語の共通点である。「可愛らしい」は派生元の「可愛い」と同じくプラスイメージで、「幼らしい」は派生元の「幼い」と同じく中立的イメージであるが、「汚らしい、怖らしい、惨らしい」は派生元の「汚い、怖い、惨い」と同じようにマイナスイメージである。ただし、「憎らしい」は派生元形容詞「憎い」と同じくマイナスイメージを表すほか、プラスイメージに意味変化することもある。なお、「惨らしい」よりも「惨たらしい」が多用されるのが現代日本語の実情である。

寺村(1988:145-161)によれば、感情表現には感情の直接的表出と感情的品定め表現がある。本研究で考察したように、「幼らしい、可愛らしい、汚らしい、怖らしい、憎らしい、惨らしい」は感情の直接的表出というよりも感情的品定め表現である。それに対して、派生元形容詞のうち「憎い」「怖い」「可愛い」はもともとほかの派生元形容詞に比べて、感情の直接的表出と言えるが、ほかの言葉と共起して修飾語になることも多いので感情的品定め表現になることも少なくない。要するに、形容詞語基からなる「～らしい」は人間の感情または感覚そのものを表すか、あるいは話し手によって主観的に捉えられた状態を表すものであるが、上述したよう

(表8) 派生元「～い」と「形容詞語基+らしい」の評価性と主観性

「Xい」	評価性	主観性	「Xらしい」	評価性	主観性
幼い	△	×	幼らしい	△	○
可愛い	+	○	可愛らしい	+	×
汚い	-	○	汚らしい	-	○
怖い	-	○	怖らしい	-	×
憎い	+,-	○	憎らしい	+,-	×
惨い	-	×	惨らしい	-	×

(「+」はプラスイメージ、「-」はマイナスイメージ、「△」は中立的イメージを表す。「○」は主観性、「×」は客観性を持つことを表す。)

に派生元形容詞「Xい」の意味によってその派生語「形容詞語基+らしい」の意味や主観性が左右されることもあるので、「形容詞語基+らしい」形式の全体に対する一括解釈よりも一つずつの語を大切に考察し、解説したほうがいいのではないかと思われる。なお、語の意味はただ普通の日本の国語辞典や日中辞典における意味記述だけではなく、プラスイメージかマイナスイメージか中立的イメージかをわきまえることも大切である。

最後に、中国語母語話者の日本語学習者の学習プロセスにおいて辞書利用は大事である。しかし、次表で見るように、日中辞典は必ずしも当てにできるとは限らない。指導上、「形容詞語基+らしい」のコロケーションによる提示及び派生元形容詞との比較をすすめたものである。

(表 9) 日華辞典における「「形容詞語基+らしい」

永大當代日華辭典	
幼い	1.年幼的。幼小的。2.幼稚的。
幼らしい	—
可愛い	可愛的。心愛的。招人喜歡的。好玩的。
可愛らしい	可愛的。小巧玲瓏的。
汚い	1.污穢的。骯髒的。2.卑鄙的。卑劣的。醜陋的。 3.吝嗇的。小氣的。4.不正派的。不正經的。
汚らしい	顯得骯髒的令人作嘔的。卑鄙無恥的。
怖い	可怕的。令人害怕的。
怖らしい	—
憎い	憎恨的。憎惡的。
憎らしい	1.可恨的。可憎的。討厭的。2.忌妒。
惨い	1.悽慘的。2.殘酷的。
惨らしい	—

## 引用出典

北原保雄編 (2001) 『日本国語大辞典』第二版、小学館 (国二)

北原保雄編 (2002) 『明鏡国語辞典』大修館

新潮社 (1995) 『新潮文庫の100冊 CD-ROM版』新潮社(100)

新潮社 (2000) 『新潮文庫の絶版100冊 CD-ROM版』新潮社(z100)

劉元孝(1985)『永大當代日華辭典』永大書局

国立国語研究所「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)

<https://chunagon.ninjal.ac.jp/>  
日本語コロケーション辞典 <http://collocation.hyogen.info>  
用例 JP <http://yourei.jp>(JP)  
goo 辞書国語辞書デジタル大辞泉 <http://dictionary.goo.ne.jp/>  
English Oxford Dictionaries  
<https://en.oxforddictionaries.com/definition/kawaii>

## 参考文献

- 岩崎真梨子 (2013) 「形容詞性接辞のレアリティに関する考察—「ーぽい」「ーらしい」「ーみたい」」『八木工業大学紀要』32
- グループ・ジャマシイ編 (1998) 『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版 pp. 233-234
- 小島聡子 (1996) 「「らしい」について」『山口明穂教授還暦記念 国語学論集』明治書院
- 田野村忠温 (1991) 「「らしい」と「ようだ」の意味の相違について」『言語学研究』10、京都大学
- 寺村秀夫 (1982) 『日本語のシンタクスと意味』第 I 巻、くろしお
- 松本曜編 (2003) 『認知意味論』大修館
- 宮本健次 (2008) 『日本の美意識』光文社
- 村上昭子 (1981) 「接尾辞ラシイの成立」『国語学』124、国語学会
- 榎山洋介 (2002) 『認知意味論のしくみ』研究社
- 森田良行 (1989) 『基礎日本語辞典』角川書店
- 山下喜代 (1995) 「形容詞性接尾辞「～ぽい・～らしい・～くさい」について」『講座日本語教育』30 早稲田大学日本語研究教育センター

後記：本稿は科技部研究計画「認知意味論から見た形容詞の意味・用法の相違」(MOST 105-2410-H-031 -050 -MY3) の成果である。内容の一部は「認知意味論から見た「形容詞語基+らしい」というタイトルで 2017 年 5 月 19 日に国立高雄餐旅大学主催・台湾応用日語学

会共催「2017年応用外国語国際シンポジウム」で口頭発表したものである。